

## PPP 検討案件紹介

- 1 大通り公園
- 2 (仮称)中尾一丁目公園
- 3 (仮称)旧上瀬谷通信施設公園

Ex. Park-PPP Yokohama



# 「大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプラン」 を策定しました！

公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたり、公園の立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者及び担い手（関係団体、民間事業者等）となる皆様と共有するために、大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプランを策定しました。

パークマネジメントプランに基づく施策を実施することで、「公園の魅力アップ」とともに「利用者の満足度向上」、「維持・管理の効率性向上」を目指していきます。

## 1 大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプランについて

### (1) 背景

大通り公園（横浜市中区）の1区～3区が位置する関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定しています。

大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、課題の解決を含めた公園の魅力アップを目指していくこととしています。



### (2) 目的

パークマネジメントプランは、「横浜市水と緑の基本計画」（2016年6月）及び「公園における公民連携に関する基本方針」（2019年9月）に基づき、公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたり、個別の公園毎に立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者及び担い手（関係団体、民間事業者等）となる皆様と共有するために策定しています。

### (3) 概要

#### 将来像

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します

#### ●方針1

花や緑による「緑の軸線」の更なる魅力向上を目指します

施策①都心部の貴重な緑の空間として、街の美観向上と安全かつ明るく快適な歩行者空間を確保  
②花や緑による景観創出等により、緑の軸線の魅力が実感できる機会を更に創出

#### ●方針2

公民連携による賑わいの創出など、公園の魅力向上を目指します

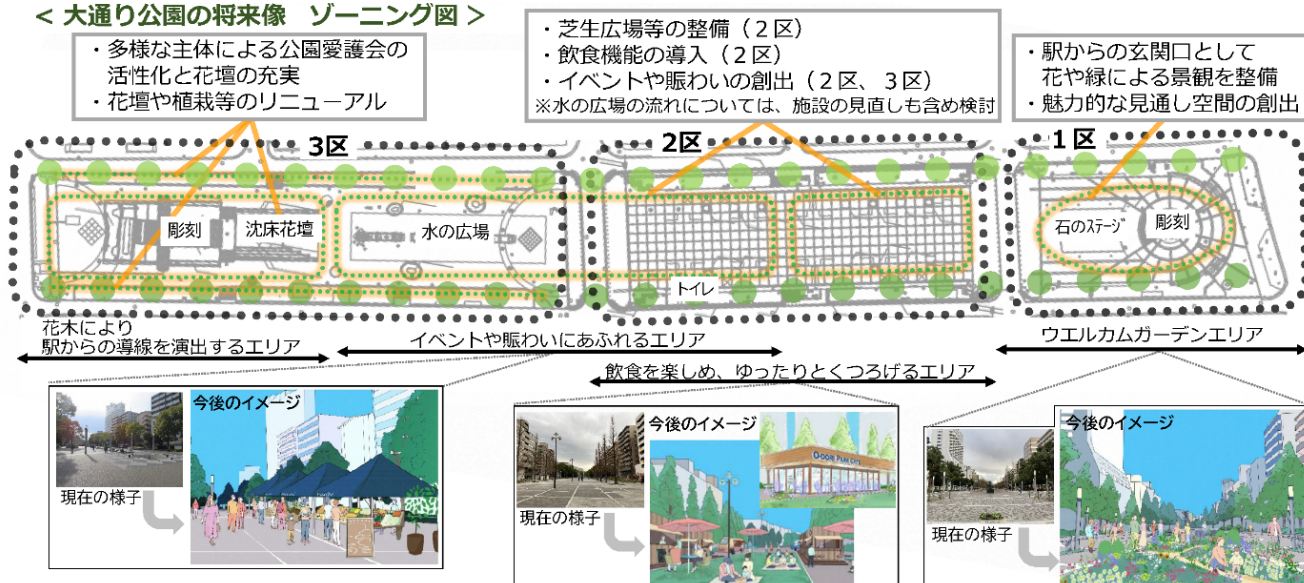
施策①関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動し、回遊性を向上  
②周辺の事業者等との連携により、公園利用者へのサービス向上につながる横浜らしい新たな魅力や賑わいを創出  
③大通り公園から関内・関外エリアの活気と賑わいを創出し、持続可能な公園経営を推進

#### ●方針3

誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します

施策①公園利用者のマナー向上や多言語化等の推進  
②地域の歴史を大切に、市民の日常利用のため、バリアフリー化や防災の視点など、誰もが使いやすく、きれいで安心・安全な公園づくりの推進  
③公園愛護会の活性化をはじめ、地域との協働による公園活用等の推進

#### < 大通り公園の将来像 ゾーニング図 >



## 2 大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプランの閲覧方法

横浜市ホームページでご覧いただけます。

🔍 検索

大通り公園 PMP

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/oodoori\\_pmp.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/oodoori_pmp.html)

※ 中区役所広報相談係、市民情報センター（市役所3階）、環境創造局南部公園緑地事務所都心部公園担当（市役所27階）で順次冊子を配架します。

## 3 プラン（案）に対する意見募集結果

- ・ 令和4年7月8日から7月31日に意見募集を実施し、37名から85件のご意見をいただきました。
- ・ ご意見と横浜市の考え方は、ホームページ及び上記のプランの閲覧場所でご覧いただけます。

お問合せ先

環境創造局南部公園緑地事務所都心部公園担当課長

本橋 健二 Tel 045-671-3793



## パークマネジメントプランとは…

### パークマネジメントプランの目的

公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたって、公園の立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手（関係団体、民間事業者等）となる皆様と共有するために策定するものです。

### 基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手（関係団体、民間事業者等）の皆様と共有しながらプランを作成します。

### 策定の方法と今後の予定

プラン策定後は、プランに基づき⑤サウンディングや事業者公募を行う予定です。また、必要に応じて、イベント等による社会実験を通じて、具体的な課題を共有しながら事業化を推進します。

※まずは、1区～3区について検討を進めてまいります。今後、大通り公園全体のパークマネジメントプランについても検討を進めていく予定です。

①「現状と課題」について

②「将来像・方針・施策」（案）について

③ 今回の条件に合わせて時点修正

④ 大通り公園(1区～3区)パークマネジメントプランの策定

⑤ サウンディング・公募実施（予定）

### プランの推進

パークマネジメントプランに基づいた施策の実施、成果の評価、評価に基づくプランや施策等の改善といったPDCAサイクルによる公園経営を進めます。

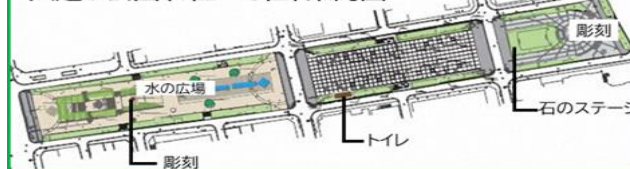


### 関内駅周辺地区周辺の動向

大規模な土地利用転換として、関東学院大学の開校や、横浜文化体育館（メインアリーナ施設）の供用開始等）が進んでいます。将来的に大学生、横浜文化体育館の利用者、旧市庁舎街区への来街者、就業者等、多様な利用が見込まれます。

時期	関内駅周辺地区の主な開発等の予定
2023年度	関東学院大学 新キャンパス開設(教育文化センター跡地) (低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープン)
2024年度	メインアリーナ施設 供用開始(横浜文化体育館再整備事業)
2025年度	旧市庁舎街区 竣工予定(2025年下期)

大通り公園(1区～3区)案内図



## 大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプラン【概要版】

大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプランを策定しました。パークマネジメントプランに基づく施策を実施することで、「公園の魅力アップ」とともに「利用者の満足度向上」、「維持・管理の効率性向上」を目指していきます。

### パークマネジメントプラン策定の背景

大通り公園（1区～3区）が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定しています。大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めた公園の魅力アップを目指していくこととしています。

### 関内駅周辺地区



●大通り公園（1区～3区）パークマネジメントプラン【全体版】  
横浜市ホームページに掲載しています。

大通り公園 PMP

検索

●関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン

関内 エリアコンセプトプラン

検索

■パークマネジメントプラン本編は、下記の市役所ホームページにてご覧いただけます。

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/oodoori\\_pmp.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/oodoori_pmp.html)

### 大通り公園の現状と課題について

#### 大通り公園及び周辺地区の沿革

大通り公園は、運河の役目を終えた吉田川・新吉田川を埋め立て、つくられた公園で、1978年に横浜の六大事業の1つである都心部強化事業における「緑の軸線構想」の一環として整備されました。1999年からの再整備を経て現在の姿になりました。

#### 大通り公園の立地特性

大通り公園が位置する、関内・関外地区は、横浜の中心として港と共に発展を遂げてきており、港町ならではの歴史や文化が息づく、都心臨海部における大変重要な地区です。

#### 大通り公園の基本的性格

・市街地の中の貴重な緑の軸線として、成長した高木の並木及び芝生、バラ等の花やみどりは、市街地の中で自然を感じることが出来る貴重な要素であり、都心部の魅力を高める「緑の軸線」の中核を担っています。

・1区の石のステージ、2区の石の広場、3区の水の広場では、これまでイベントで利用され、賑わいの創出に寄与してきました。現在は、イベント開催による新たな賑わい創出の可能性を検証しています。2017年からまちづくりの取組として、まちの賑わい創出を目的に、主に1区や2区で社会実験を実施しています。

#### 課題

##### （1）公園利用者のマナー

ゴミのポイ捨て、野鳥へのエサやり、園内の自転車走行、騒音など、一部の公園利用者のマナーへの対応。

##### （2）公園の安全安心や美化

安全安心に係る対応、バリアフリーへの対応、園内の清潔感、植栽による美観創出。

##### （3）高木の巨木化・老朽化

舗装の根上がりによる歩きづらさ。道路沿いにクスノキ等の巨木が多く、防犯・安全面への懸念。また、高木の老朽化による事故の発生防止。

##### （4）公園愛護会の更なる活性化

今後の公園愛護会の担い手不足。

##### （5）まちづくり方針と連動

「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を踏まえた、賑わいや滞在する空間の創出。

##### （6）公民連携（公共、民間、地域）による公園の魅力アップ

「公園における公民連携に関する基本方針」に基づいた、公園の魅力アップのための公民連携手法の活用。

お問合せ： 横浜市環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当  
電話番号：045-671-3648 電子メール：ks-toshinbukanri@city.yokohama.jp



## 将来像

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します

### ●方針1

花や緑による「緑の軸線」の更なる魅力向上を目指します

施策①都心部の貴重な緑の空間として、街の美観向上と安全かつ明るく快適な歩行者空間を確保  
②花や緑による景観創出等により、緑の軸線の魅力が実感できる機会を更に創出

### ●方針2

公民連携による賑わいの創出など、公園の魅力向上を目指します

施策①関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動し、回遊性を向上  
②周辺の事業者等との連携により、公園利用者へのサービス向上につながる横浜らしい新たな魅力や賑わいを創出  
③大通り公園から関内・関外エリアの活気と賑わいを創出し、持続可能な公園経営を推進

### ●方針3

誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します

施策①公園利用者のマナー向上や多言語化等の推進  
②地域の歴史を大切に、市民の日常利用のため、バリアフリー化や防災の視点など、誰もが使いやすく、きれいで安心・安全な公園づくりの推進  
③公園愛護会の活性化をはじめ、地域との協働による公園活用等の推進

## ゾーニング図（イメージ）

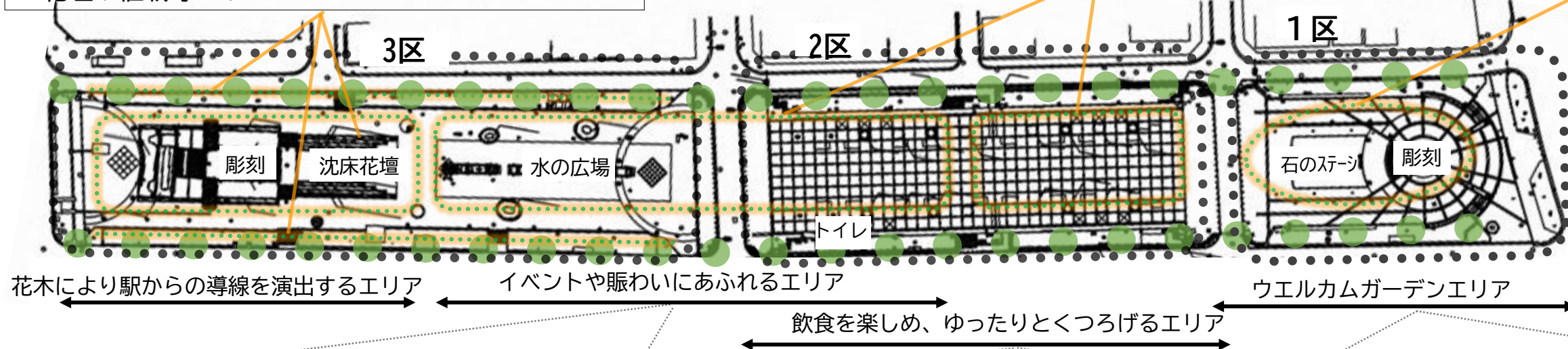
- ・多様な主体による公園愛護会の活性化と花壇の充実
- ・花壇や植栽等のリニューアル

- ・芝生広場等の整備
- ・飲食機能の導入
- ・イベントや賑わいの創出（2区・3区）
- ※水の広場の流れについては、施設の見直しも含め検討

- ・駅からの玄関口として花や緑による景観を整備
- ・魅力的な見通し空間の創出

- 1～3区全域等に係る内容
- ・高木の一部整理により、明るく、快適で、安心安全な空間の確保
  - ・周辺公園との連携を推進

※ゾーニング図で示した内容のほか、将来像、方針、施策に基づく取組の検討や実施をしていきます。



今後のイメージ

今後のイメージ

今後のイメージ



現在の様子



現在の様子



現在の様子





# おいしい公園、はじめます。 大通り公園でキッチンカーによる飲食物販売事業者を募集！

横浜市では大通り公園（中区）において、「関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指す」ことを将来像に掲げたパークマネジメントプランを令和4年11月に策定しました。

今回、プランに掲げた方針や施策の実現に向け、社会実験として公園利用者へのサービス向上を目的に公募型行為許可制度※にて、キッチンカーによる飲食物販売事業者を募集します。なお、今回の社会実験では、従来の行為許可の基準を一部緩和しつつ、公益性の確保について検証していきます。

## 1 概要

### (1) 実施内容

キッチンカーによる飲食物販売  
1日に6事業者（6台）程度を想定

### (2) 実施公園・場所

大通り公園「石の広場」 横浜市中区長者町5丁目55-2

### (3) 実施期間

第1期：令和5年4月1日（土）～5月31日（水）※ 5月28日（日）は除く

第2期：令和5年6月1日（木）～7月31日（月）

第3期：令和5年9月1日（金）～10月31日（火）

※ 各事業者における、最大の実施日数は各期とも30日までとします。

### (4) 応募条件【公益性の確保】（※詳細は募集要項で確認してください）

- ① 脱プラスチックの取組をすること（SDGsの取組）
- ② 無料休憩所の設営・撤去及びごみ回収・清掃をすること（広く公園利用者への貢献）
- ③ 公園の課題解決に資する取組をすること（広く公園利用者への貢献）
- ④ 関内・関外エリアのイベント等の周知をすること（周辺の魅力や賑わいへの貢献）

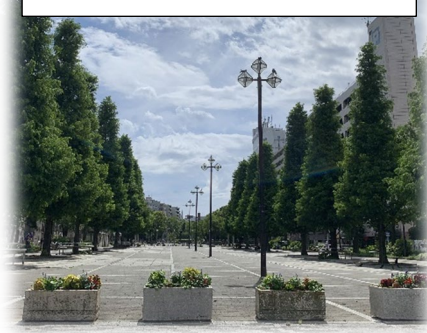
### (5) 公園使用料

1日につき1,200円

#### ※公募型行為許可制度とは

公益性（公園の魅力アップや、利用者へのサービス向上等）を確保することを条件に、公園で民間事業者等が、自ら主催し、そのアイデアを活用したイベント等を行うことができるようにする制度です。

【参考】大通り公園写真



【参考】過去のイベント時の風景



【裏面あり】

## 2 公募スケジュール（予定）

令和5年1月10日（火）	公募開始
令和5年1月17日（火）	17時 質問書提出期限
令和5年1月24日（火）	質問書に対する回答
令和5年2月7日（火）	17時 申込書類提出期限
令和5年2月 中～下旬	審査、行為許可候補決定、通知
令和5年3月 上旬	第1期の販売予定日連絡、第1期の行為許可申請
令和5年4月1日（土）～	第1期実施
令和5年5月 上～中旬	第2期の販売予定日連絡、第2期の行為許可申請
令和5年6月1日（木）～	第2期実施
令和5年8月 上～中旬	第3期の販売予定日連絡、第3期の行為許可申請
令和5年9月1日（金）～	第3期実施
令和5年11月	実施結果の報告書類提出

## 3 募集要項等

下記ホームページ及び募集要項をご確認のうえ、ご応募ください。

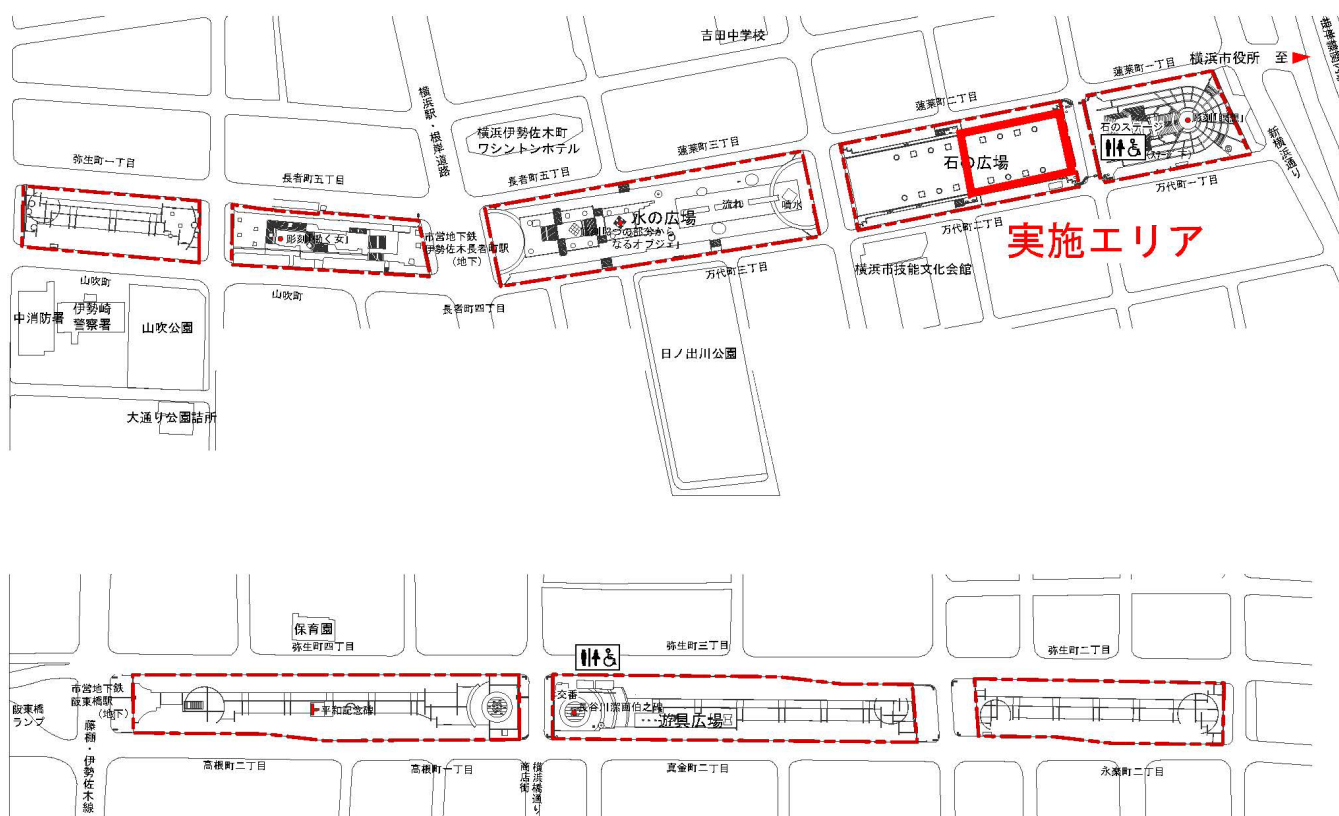


【募集要項QR】

<募集要項>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/renkei/oodoori-foodtruck.html>

【参考：大通り公園全体図】



お問合せ先

環境創造局南部公園緑地事務所都心部公園担当課長 本橋 健二 Tel 045-671-3793



# (仮称)中尾一丁目公園(旭区)の 魅力づくりに向けたサウンディング型市場調査 を実施します！

横浜市では、令和元年9月に「公園における公民連携に関する基本方針」を策定し、これまで以上に多様な主体との連携による公園の利活用を進めていくこととしています。

そのひとつとして、旭区にある神奈川県警察運転免許センターの隣接地に新設する(仮称)中尾一丁目公園(位置図参照)において、民間事業者等の多様な主体との連携により、公園や地域の魅力づくりに資する事業の可能性を探るため、アイデアを募集します。

今回のアイデア募集の結果を踏まえ、連携事業の可否や、公募等を実施する場合の条件等を検討していきます。

## 1 対話の方法

【期 間】令和5年1月23日(月)～令和5年2月3日(金)(1グループ1時間程度)

【場 所】横浜市役所会議室

※ 日時連絡の際に、具体的な会場をご案内します。

【対象者】事業実施に関心のある 事業者、団体等

【方 法】対面形式又はWEB会議形式

※ マスクの着用や参加人数の制限など感染防止対策にご協力をお願いします。

## 2 対話参加の申込

【申込期間】令和5年1月4日(水)～令和5年1月31日(火)

【申 込 先】横浜市環境創造局 公園緑地整備課 中部担当

Eメール：[ks-koenseibi-c@city.yokohama.jp](mailto:ks-koenseibi-c@city.yokohama.jp)

## 3 主な対話の内容

(1) (仮称)中尾一丁目公園の立地に対する評価(長所・短所)

(2) 公園の魅力づくりに資する事業アイデアについて

① 魅力づくりのポイント、事業の内容 等

② 施設を設置する場合はその内容(位置、規模(床面積や階段等)、想定されるインフラ、営業時間等)

(3) 公園管理への関わりの意向

(4) 地元商店街等との連携、周辺の公共公益施設との関わり方

(5) 事業実施時期又は事業期間の考え方

(6) 事業に当たっての市への要望



【実施要領等】

※ 詳細については、下記 URL から実施要領等をダウンロードしてご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/renkei/nakao-1.html>

(仮称) 中尾一丁目公園の概要

所在地・交通	横浜市旭区中尾一丁目4番 相鉄線二俣川駅から徒歩16分 相鉄バス【旭23】「運転免許センター」下車 徒歩3分
面積	2,537 m <sup>2</sup>
用途地域（都市計画法）	第一種中高層住居専用地域
建ぺい率（都市公園法）	原則2% ※ 都市公園法第5条に規定されるPark-PFIにより整備を行う場合は、建ぺい率が10%上乗せできる特例有
主な公園施設	街区公園として求められる機能として、『園路・広場・休憩施設（ベンチ・水飲み等）』等の施設整備を予定 (今回のアイデア募集の結果等を踏まえて今後検討)

位置図



お 問 合 せ 先			
【（仮称）中尾一丁目公園について】			
環境創造局公園緑地整備課長	金澤 雅範	Tel 045-671-2614	
【サウンディング調査について】			
環境創造局公園緑地管理課担当課長	安形 和倫	Tel 045-671-3866	



## (仮称)旧上瀬谷通信施設公園の北地区における サウンディング調査(対話1回目)の実施結果を公表します

(仮称)旧上瀬谷通信施設公園の北地区は本公園基本計画(案)により「公民連携を積極的に推進し、自然と共生しながら、賑わいを創出する地区」としており、民間活力導入のため、民間事業者の皆さまとのサウンディング調査(対話1回目)を実施しましたので、結果を公表します。

### 1 対話実施結果

#### (1) 対話期間

令和4年11月10日から11月16日まで

#### (2) 参加事業者数

17 法人又は法人のグループ

#### (3) 提案・意見の概要

主な意見として以下のものがありました。

##### ■ 対象区域の魅力

- ・ 都会にありながら自然を感じられる場所である。
- ・ 首都圏でも貴重で広大な敷地である。
- ・ 2027年国際園芸博覧会が開催され、認知度アップが期待できる。
- ・ 観光・賑わい地区など他地区との相乗効果が見込め、多様な賑わいを創出することが可能である。
- ・ 交通利便性が優れている。

##### ■ 事業内容

自然の中での様々な体験を取り入れた事業や、SDGs、ゼロエネルギーやゼロカーボンなど環境をキーワードにした事業などの提案がありました。

##### ■ 想定施設

グランピング施設、キャンプ施設、バーベキュー施設、飲食・物販施設、アスレチック施設、ガーデニングセンターなど様々な施設の提案がありました。

##### ■ 事業手法

Park-PFI 制度が最も多く提案されましたが、事業採算性や維持管理費用などの課題についての意見もありました。

##### ■ 事業期間

複数の事業者から20年から40年程度を希望するとの意見がありました。一方、時代のニーズを考慮して最低でも5年や10年ごとに事業内容を見直し、必要に応じてリニューアルを実施していく必要があるとの意見がありました。

##### ■ 市への意見・要望

- ・ 事業検討にあたり、観光・賑わい地区のテーマパークの事業内容や交通計画の影響がある。
- ・ 公園と観光・賑わい地区をつなぐ動線の確保が必要である。
- ・ Park-PFI 制度の場合は、特定公園施設の整備範囲や費用負担割合などが事業検討にあたり重要である。

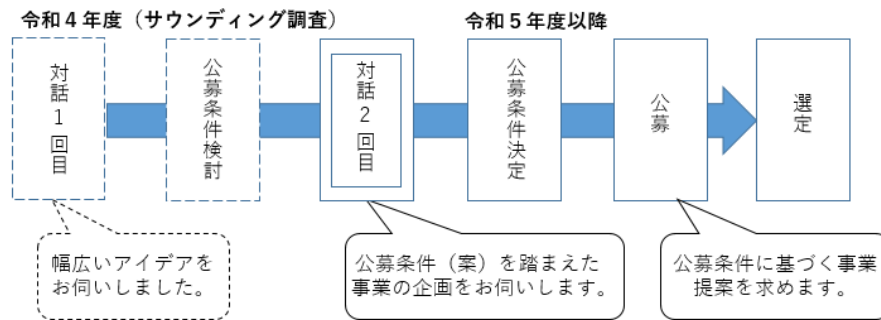
※詳細については、下記 URL をご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/kamiseya/kamiseyasounding.html>



## 2 今後のスケジュール

今回の対話の結果を踏まえ、具体的な公募条件（案）などを示した2回目の対話を今年度中に実施する予定です。



参考：Park-PFI（公募設置管理制度）

飲食店、売店などの公園利用者の利便の向上に資する「公募対象公園施設」の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場などの一般の公園利用者が利用できる「特定公園施設」の整備、改修などを一体的に行う制度

お問合せ先

環境創造局公園緑地整備課上瀬谷担当課長 石原 従道 Tel 045-671-4787



## 公園利活用に関する受発信窓口「Park-PPP Yokohama」

略称「P x P（ピーバイピー）」

### (1) 公募情報等を発信

- ①ホームページ：各公園の利活用に関する公募情報を一元的に掲載
- ②Eメール：公募情報や公園の公民連携に関するお知らせを登録事業者に随時配信
- ③セミナー：大学や民間事業者等との共催セミナーなどでの情報共有や意見交換

### (2) 相談・提案を受け止め、一元的に関係部署及び提案者と検討・調整

#### 【相談・提案の例】

- ①地域の事業者等による公園愛護会の活動との連携 など
- ②公益性を確保しつつ事業者等のアイデアを活用した施設整備 やイベント など

### (3) Park-PPP Yokohamaの連絡先等

- ・ 窓 口：公園緑地管理課公民連携担当（市庁舎27階）
- ・ 電 話：045-671-3847
- ・ Eメール：ks-koenppp@city.yokohama.jp
- ・ ホームページ：<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/renkei/madoguchi/>

#### ★ Eメール配信の登録方法

- ・ 事業者名、部署名、氏名、Eメールアドレスをks-koenppp@city.yokohama.jpへ送信してください。
- ・ Eメールの件名は【Eメール配信希望】としてください。

#### ★ 相談・提案の受付方法

- ・ ホームページ上の受付フォームから送信してください。
- ・ 受付後、提案内容を直接お伺いします。